Catalyst Centerライセンスのユースケースとワークフローのトラブルシューティング

内容

はじめに

前提条件

- 要件
- 使用するコンポーネント

背景説明

シナリオ

- シナリオ1:Cisco Catalyst Center License Managerを使用したデバイスライセンス登録：レガシー方式
- シナリオ2:Cisco Catalyst Center License Managerによるデバイスライセンス登録：CSLUレポートワークフロー
- 前提条件
  - Cisco Catalystセンター
  - ネットワークデバイス
- シナリオ3：仮想アカウント間のライセンス移行
- シナリオ4：スマートアカウント間のライセンス移行
- シナリオ5:SSM接続モードの変更
- シナリオ6：スマートアカウントとCisco Catalyst Centerの統合
- シナリオ7：ライセンスレベルの変更

関連情報

はじめに

このドキュメントでは、頻繁に発生するさまざまなCisco Catalyst Centerライセンスシナリオについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始していま

す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

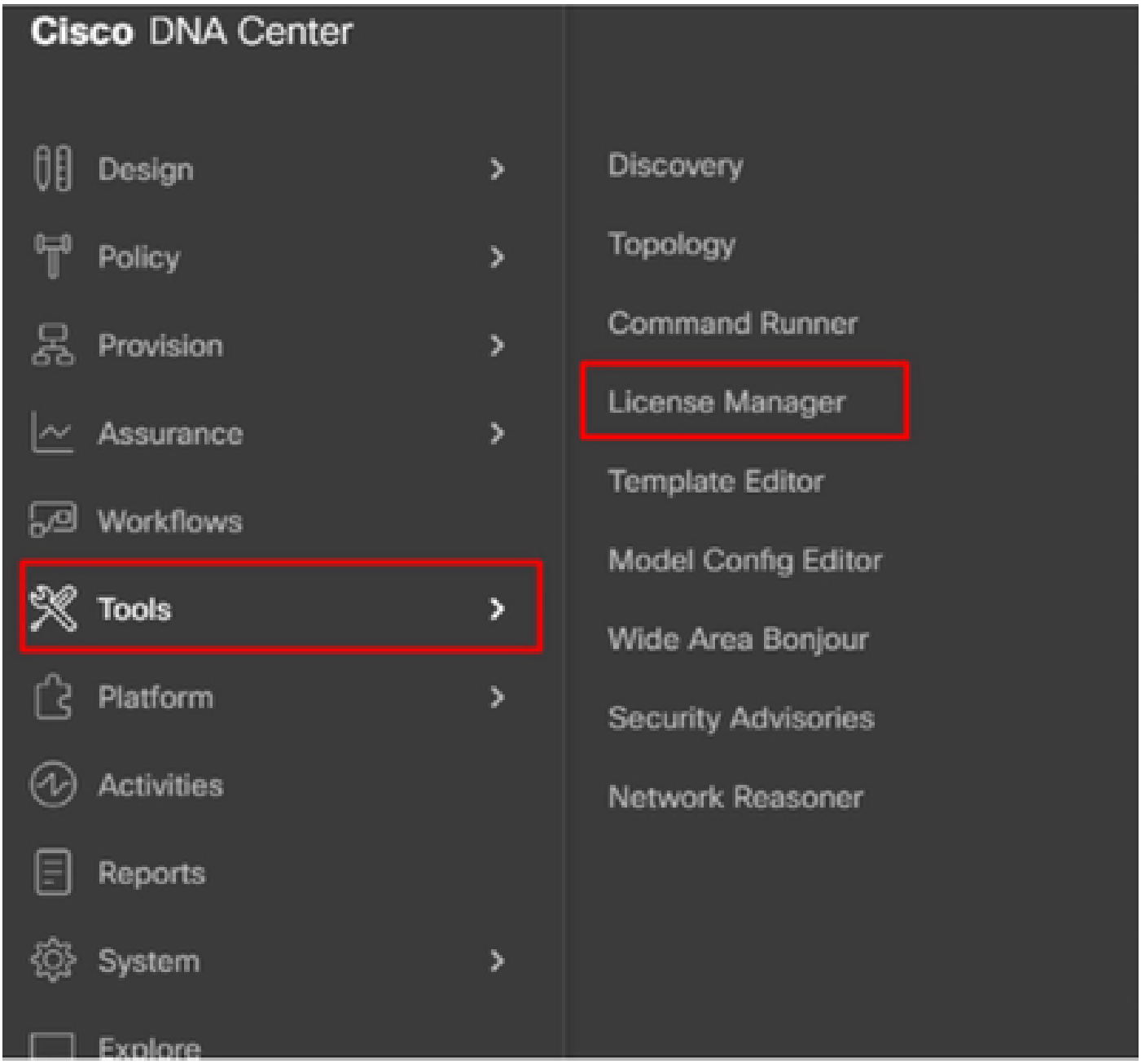
このドキュメントでは、Cisco Catalyst Center（旧称DNA Center）のLicense Managerワークフローを使用して、デバイスライセンスの登録、CSSMによる仮想アカウント間のライセンス移行などを行う方法について、順を追って詳しく説明します。

シナリオ

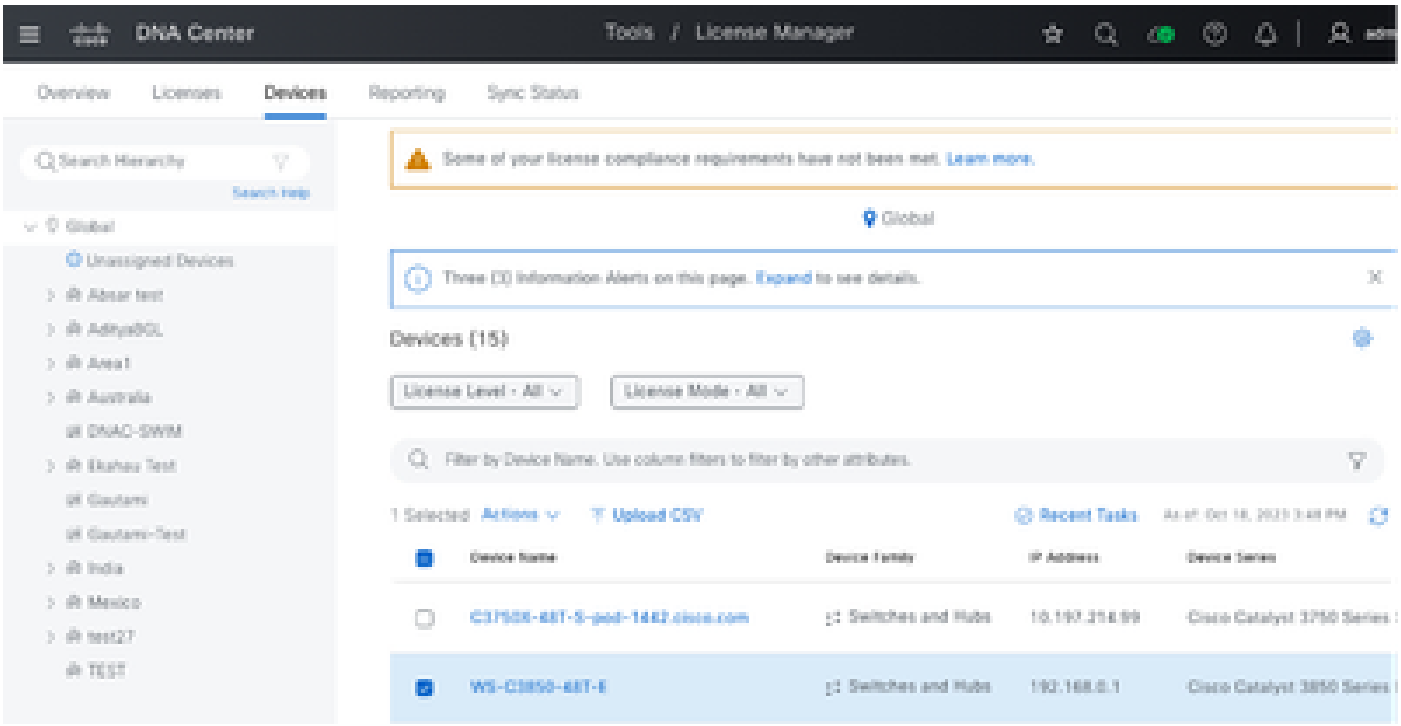
シナリオ1:Cisco Catalyst Center License Managerを使用したデバイスライセンス登録：レガシー方式

ステップ 1：管理者クレデンシャル、またはスーパー管理者権限を持つカスタムロールを使用して、Cisco Catalyst Centerにログインします。

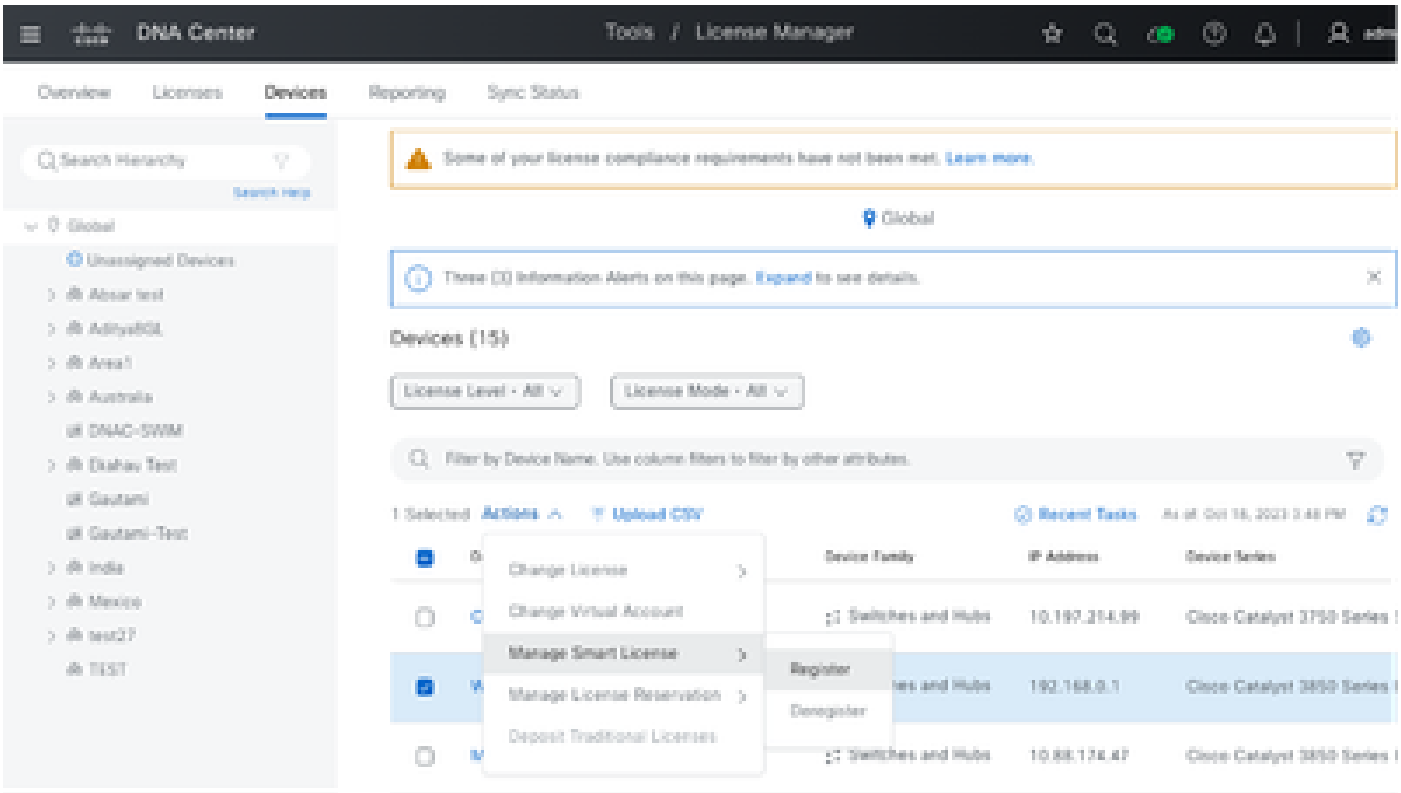
ステップ 2：Hamburgerに移動し、Tools > License Managerの順に選択します。



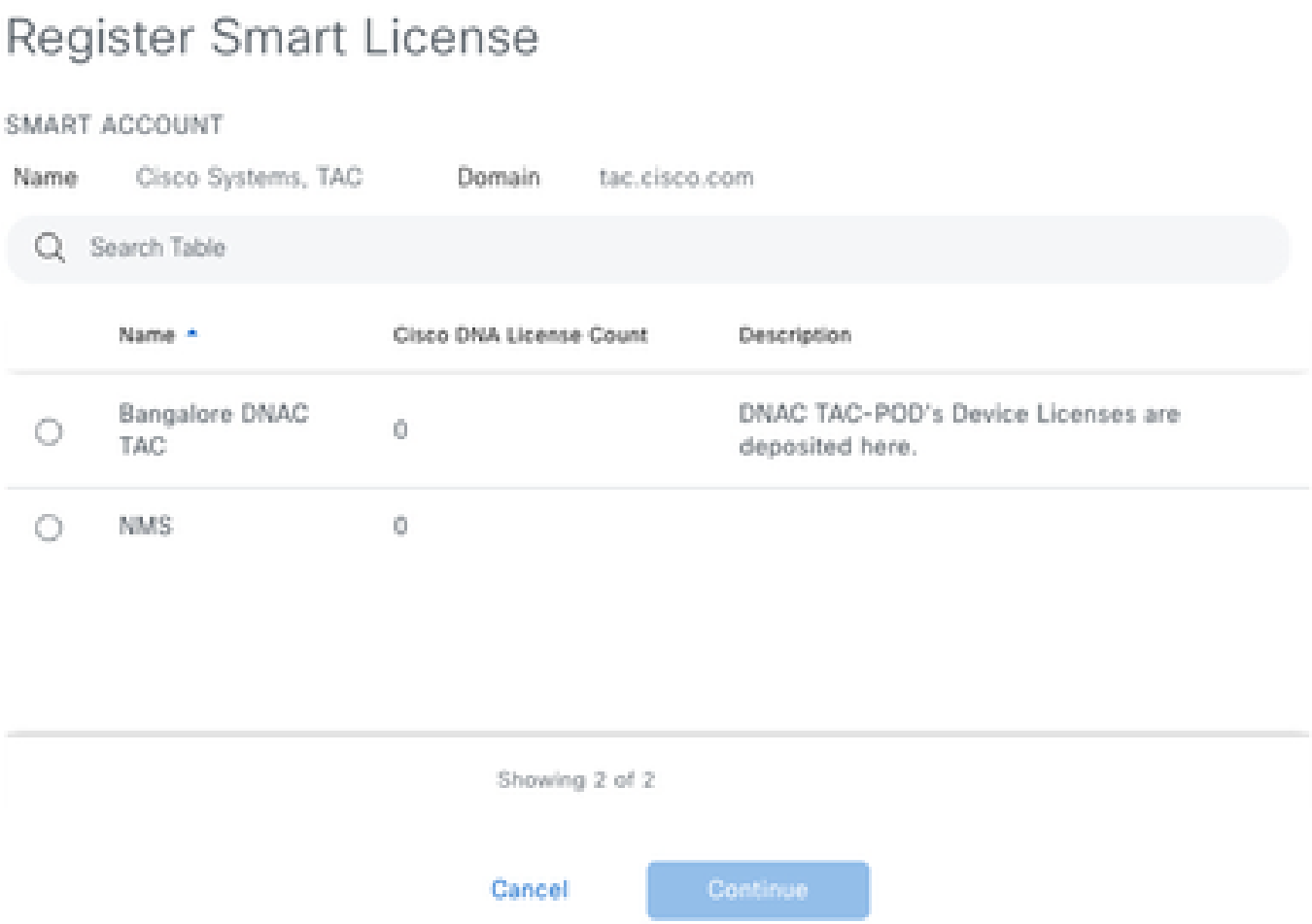
ステップ 3：Devicesタブを選択し、Filterオプションを使用するか、テーブルをスクロールして、ライセンスを登録するデバイスを見つけます。



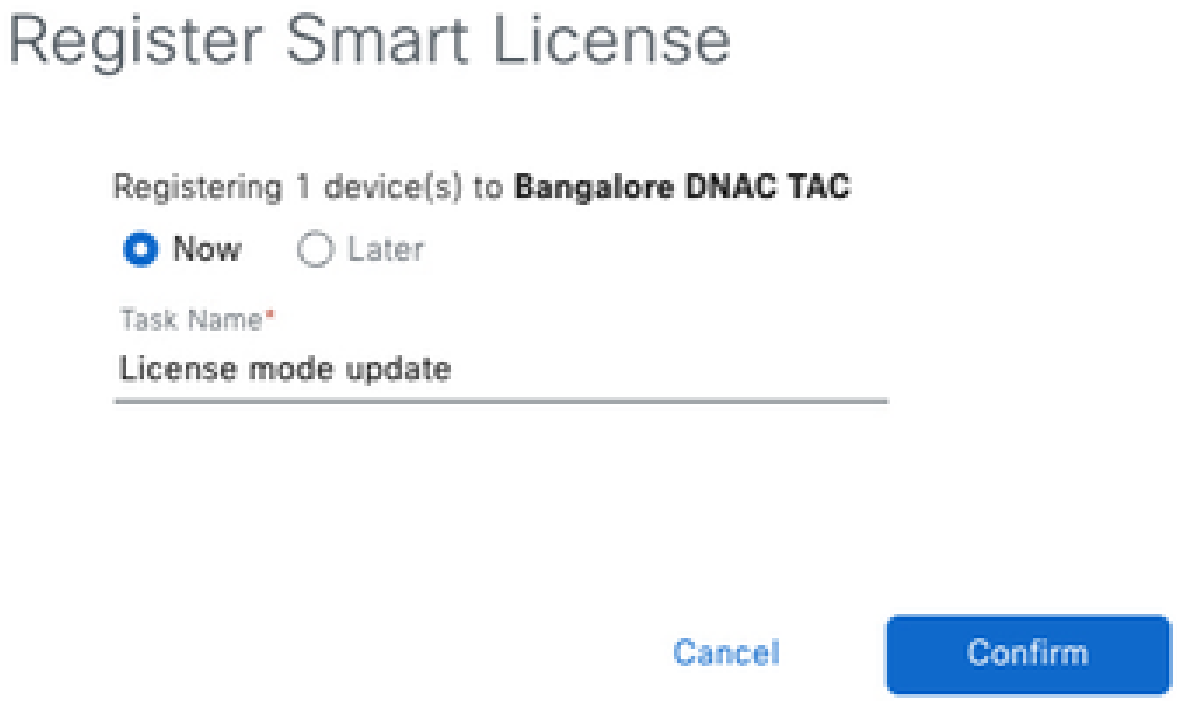
ステップ 4：ライセンスを登録する各デバイスの横にあるチェックボックスをオンにし、アクション>スマートライセンスの管理>登録の順に選択します。



ステップ 5：それぞれのライセンスがデポジットされるバーチャルアカウントを選択し、Continueをクリックします。



手順 6：Cisco Catalyst Centerは、変更を即時に適用するか、後で適用するかを尋ねるプロンプトを表示します。必要なオプションを選択し、確認をクリックします。



シナリオ2:Cisco Catalyst Center License Managerによるデバイスライセンス登録：CSLUレポートワークフロー

Cisco Catalyst Centerリリース2.2.1.x以降、および17.3.2以降を実行するデバイスは、CSSMへの登録が不要になります。代わりに、スマートライセンスコンプライアンスレポートと呼ばれる新しいワークフローを使用します。詳細については、リストされているスニペットを参照してください。

- On DNA Center release 2.2.1.0 and devices running 17.3.2 or higher:
  - Devices are no longer required to get registered with CSSM
  - License usage information will be stored in a secured location on the device
    - RUM or Usage Reports
  - Now, Cisco DNA Center is going to pull the reports and upload it to CSSM
  - Uploads can be done periodically or on demand basis
  - CSSM go through reports and make the respective updates on Virtual Account
  - After that, CSSM is going to sent and Acknowledge to DNAC if report is good
  - Finally, Cisco DNA Center is going to update the license status on GUI and on the Device itself
  - Cisco DNA Center can generate PDF reports for users

前提条件

Cisco Catalystセンター

- Cisco Catalyst Centerがリリース2.2.1.0以降で実行されている必要があります。
- Catalyst Centerアプライアンスは、Settings > Smart LicensingでCisco Smart Software Manager(CSSM)に登録されている必要があります。
- Cisco Catalyst Centerは、CSSMポータルと通信でき、tools.cisco.comにアクセスできる必要があります。
- デバイスは、Cisco Catalyst Centerインベントリダッシュボードで到達可能で管理されている必要があります。
- Catalyst Centerで適切なSSM接続モードを選択する必要があります。CSLUワークフローは、Catalyst Centerリリース2.3.7.x以降のオンプレミスCSSM(サテライト Server)には適用されません
- CSLUワークフローは、AireOSワイヤレスコントローラ（モデル：3504、5520、8540）には適用されません。

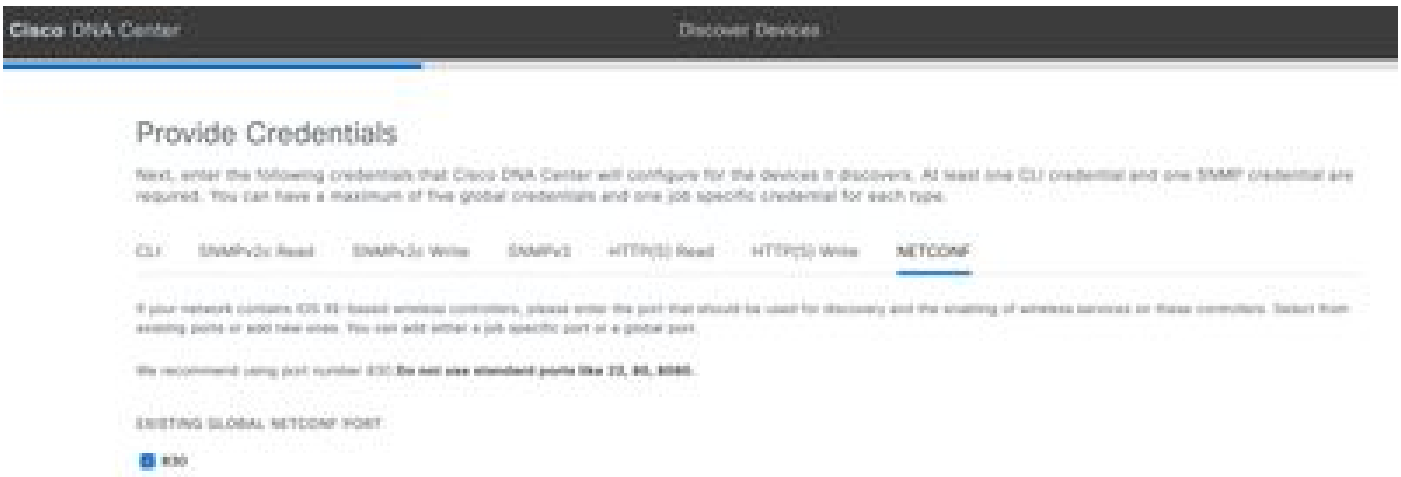
ネットワークデバイス

- Cisco IOS® XE 17.3.2以降でデバイスを実行し、RUMレポート用の十分な領域がフラッシュに存在する必要があります。
- リリース2.3.7.x以降：NetConf設定(netconf-yang)は必須ではなくなりました。
- リリース2.3.5.x以前の場合：デバイスにnetconf-yangモデルが設定されており、Cisco Catalyst CenterがNetconfポート830を介してデバイスと通信できる必要があります。

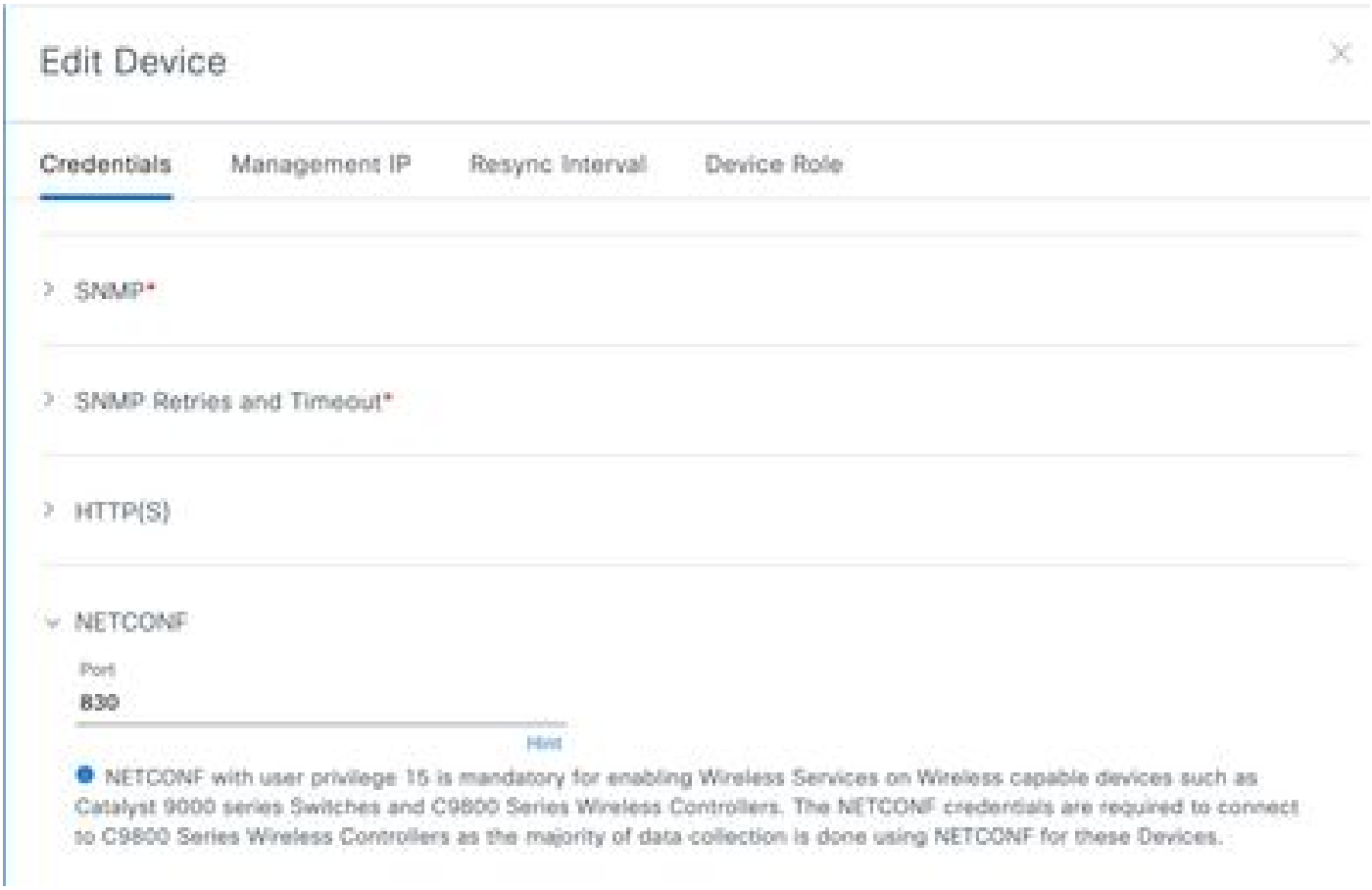
- デバイスのNetConf設定を検証するには、次の手順を実行します。

show run | sec netconf-yang

i. Cisco Catalyst Centerでのデバイス検出時に、credentialsセクションのNetconfパラメータを有効にする必要があります。



ii.デバイス検出時にNetconfパラメータが有効ではなかった場合は、Cisco Catalyst Centerインベントリの Edit Deviceオプションを使用して、これを有効にします。



- デバイスにはsdn-network-infra-iwanトラストポイントがインストールされている必要があ

ります。これはCisco Catalyst Centerによって実行されます。

検証するには、次のようにします。

show crypto pki trustpoint sdn-network-infra-iwan（トラストポイントを確認するため）

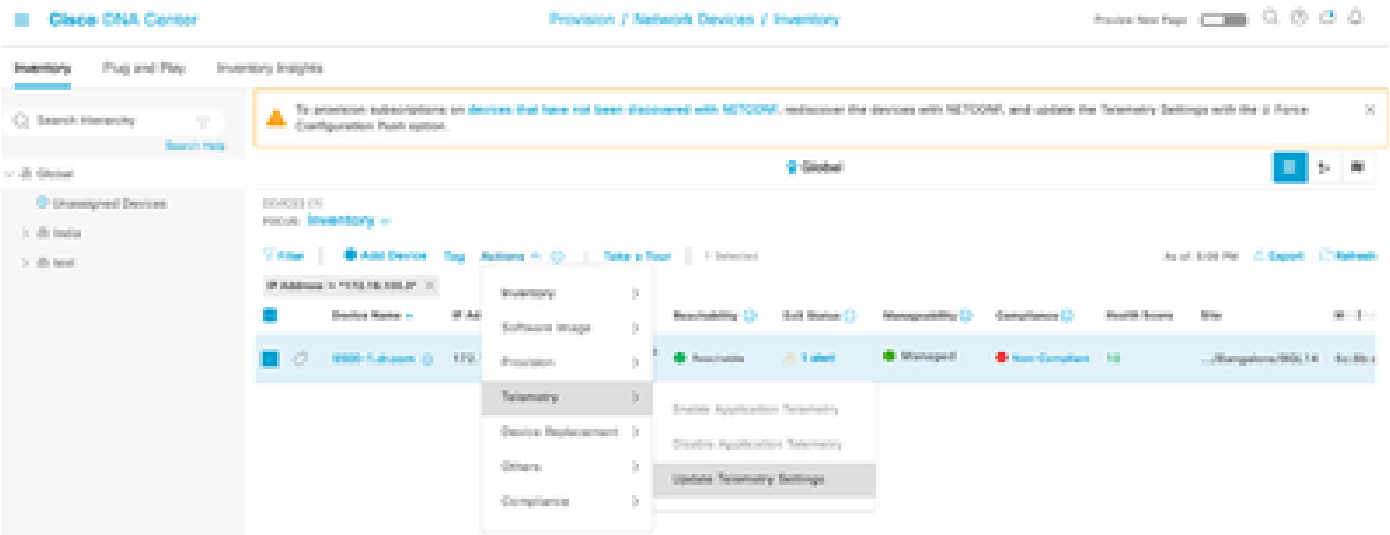
show crypto pki certificates verbose sdn-network-infra-iwan（トラストポイントを詳細に確認するため）

- sdn-network-infra-iwanトラストポイントがインストールされていない場合は、次の手順を実行します。

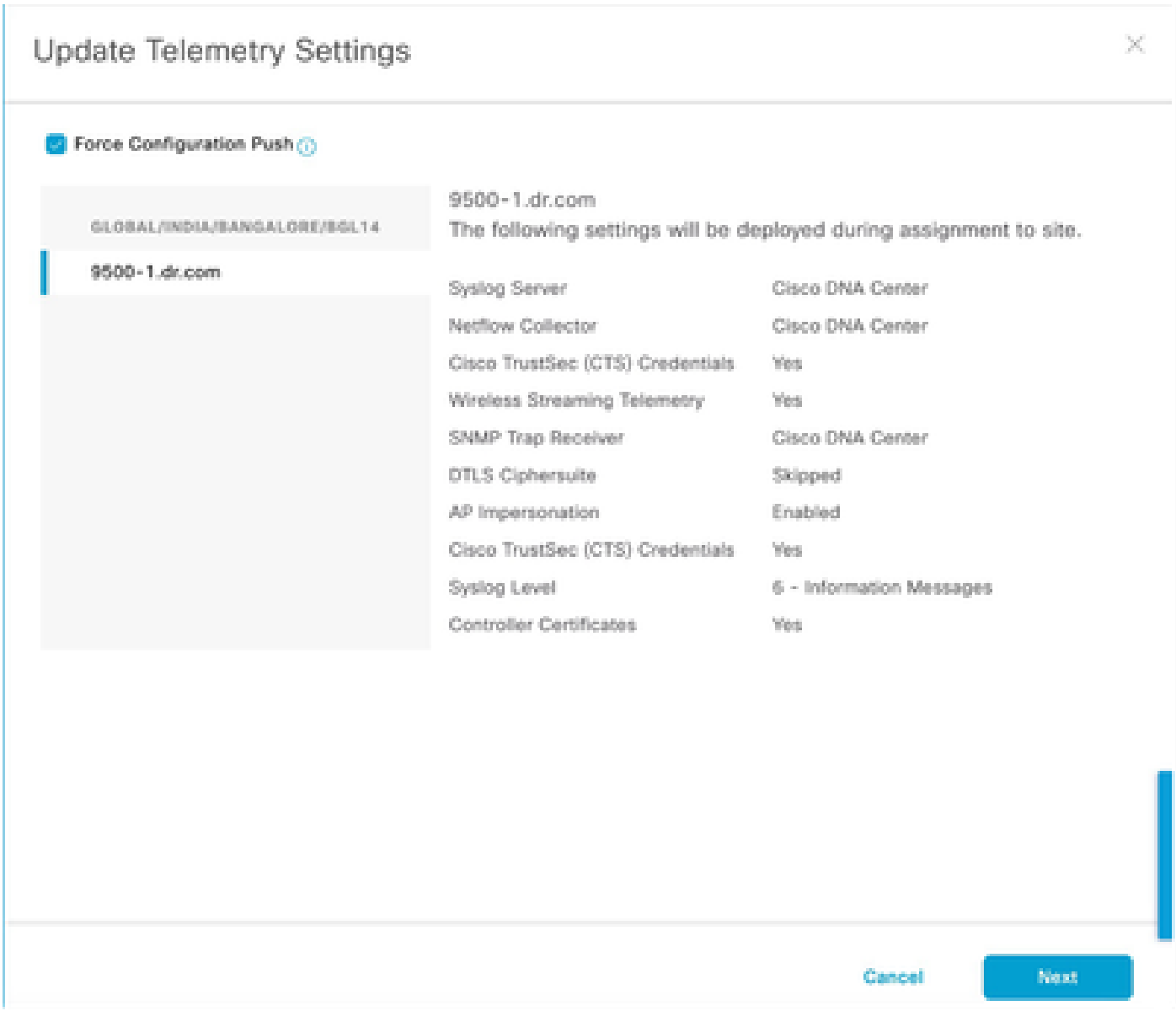
ステップ 1：管理者クレデンシャル、またはスーパー管理者権限を持つカスタムロールを使用して、Cisco Catalyst Centerにログインします。

ステップ 2：Hamburgerに移動し、Provision > Inventoryの順に選択します。

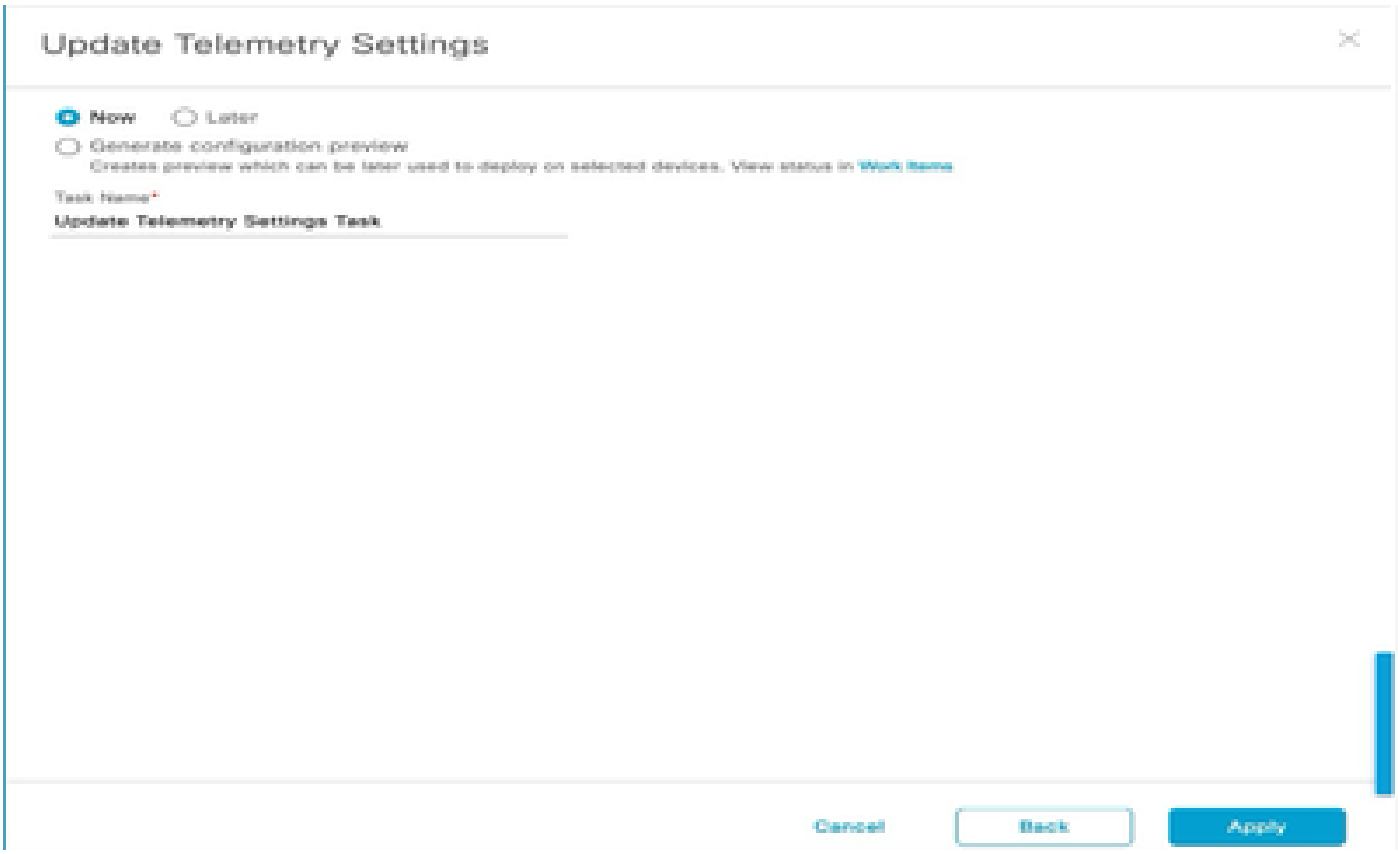
ステップ 3：トラストポイントをインストールするデバイスを選択し、アクション>テレメトリ>テレメトリ設定の更新をクリックします。



ステップ 4：Force Configuration Pushを選択し、Nextをクリックします。

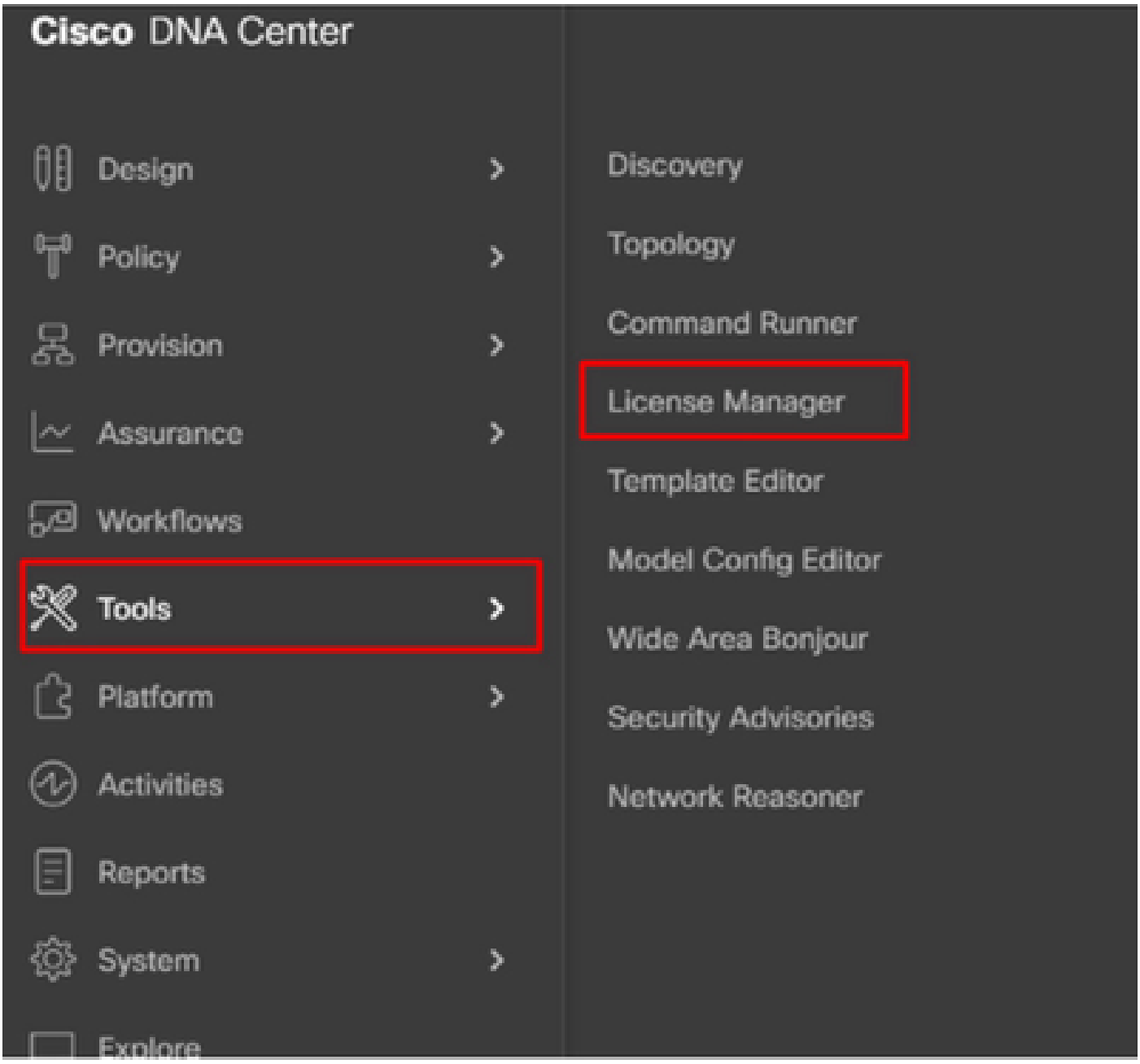


ステップ 5：Nowを選択し、Applyをクリックします。 これは実稼働には影響しません。



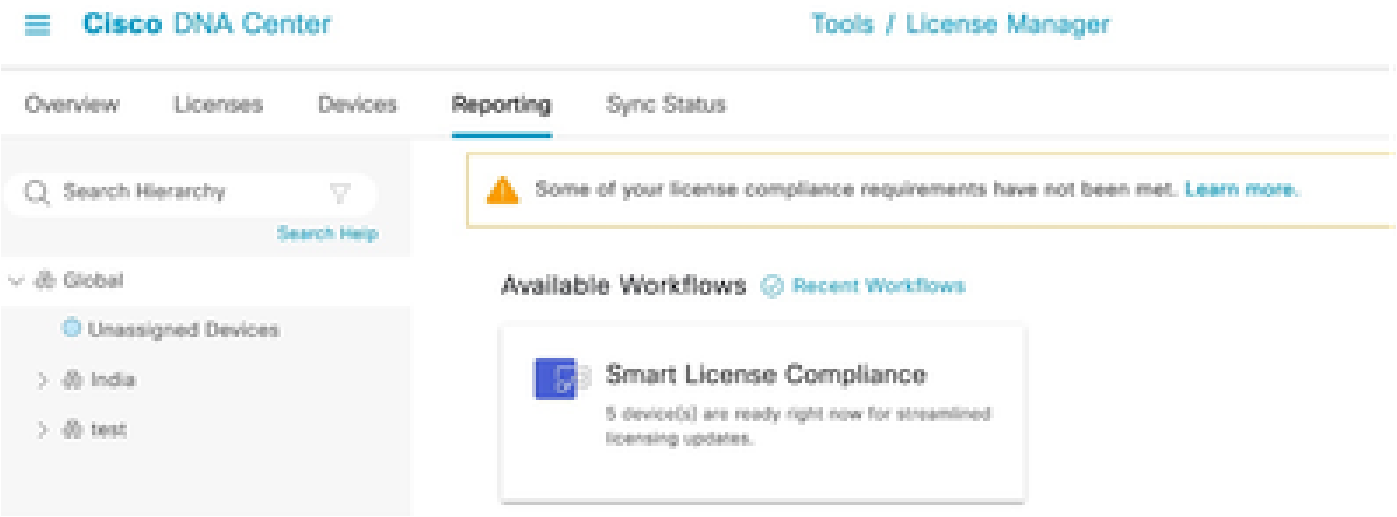
前提条件がすべて満たされている場合は、次の手順を参照してレポートワークフローを実行します。

ステップ 1：管理者クレデンシャル、またはスーパー管理者権限を持つカスタムロールを使用して、Cisco Catalyst Centerにログインします。



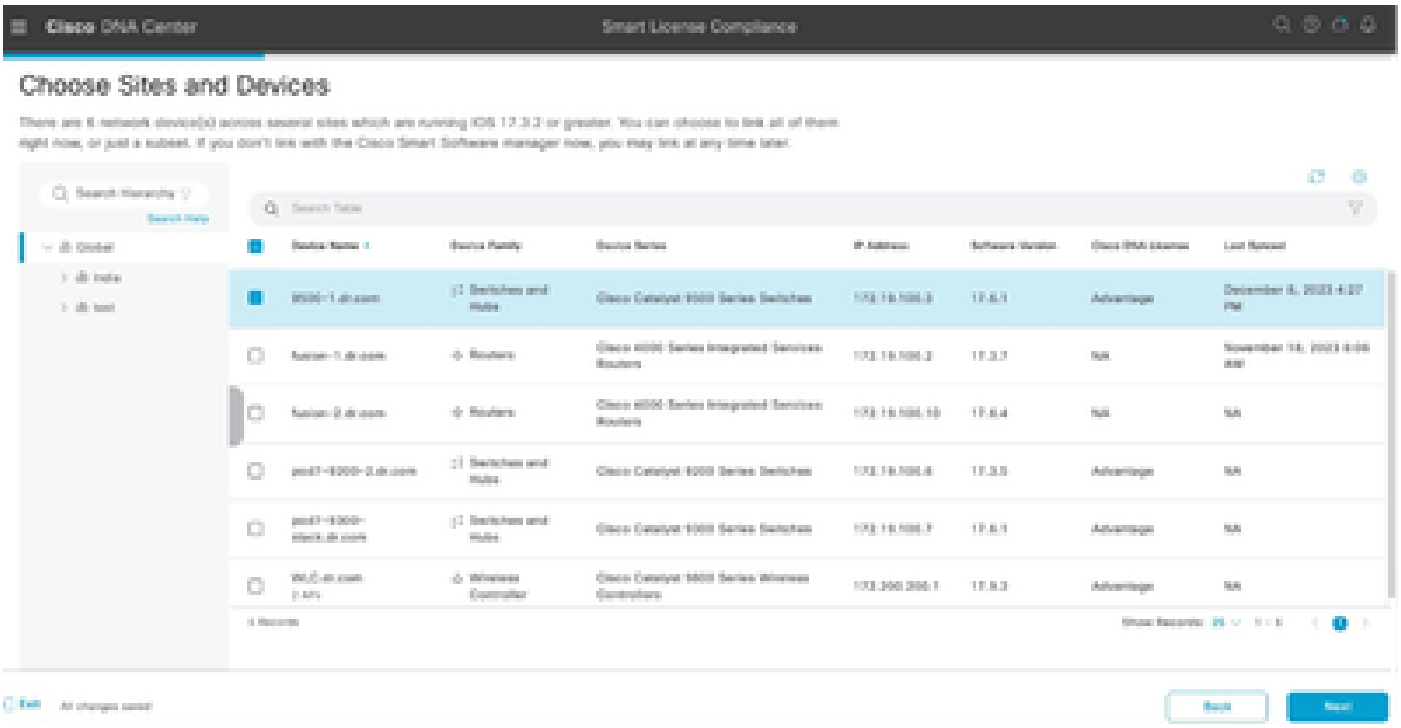
ステップ 2：Hamburgerに移動し、Tools > License Managerの順に選択します。

ステップ 3：Reportingタブを選択し、Smart License Compliance ダッシュレットを見つけます。このダッシュレットをクリックしてワークフローを起動します。



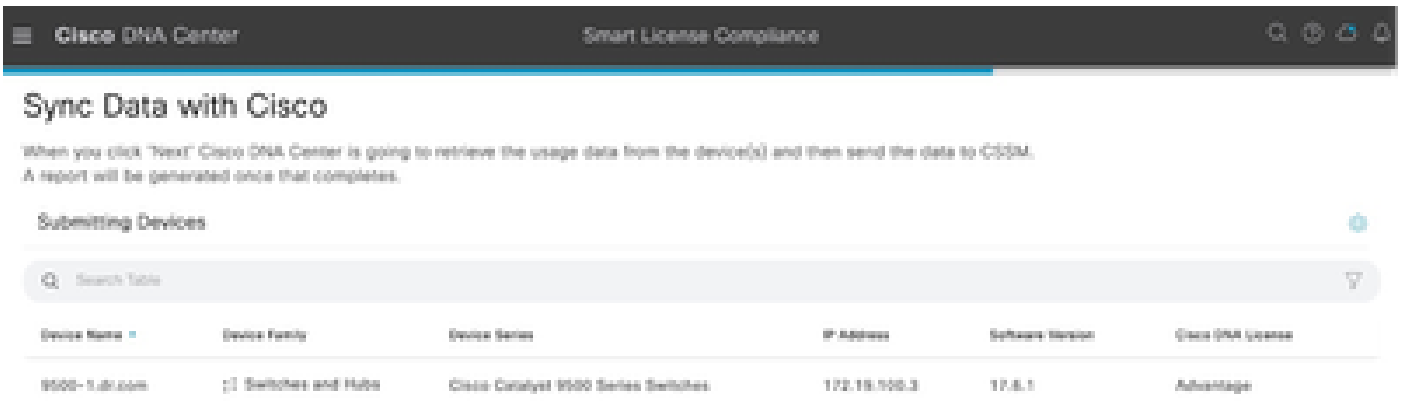
ステップ 4：デバイスライセンスが保存されているスマートアカウントと仮想アカウントを選択し、次へをクリックします。

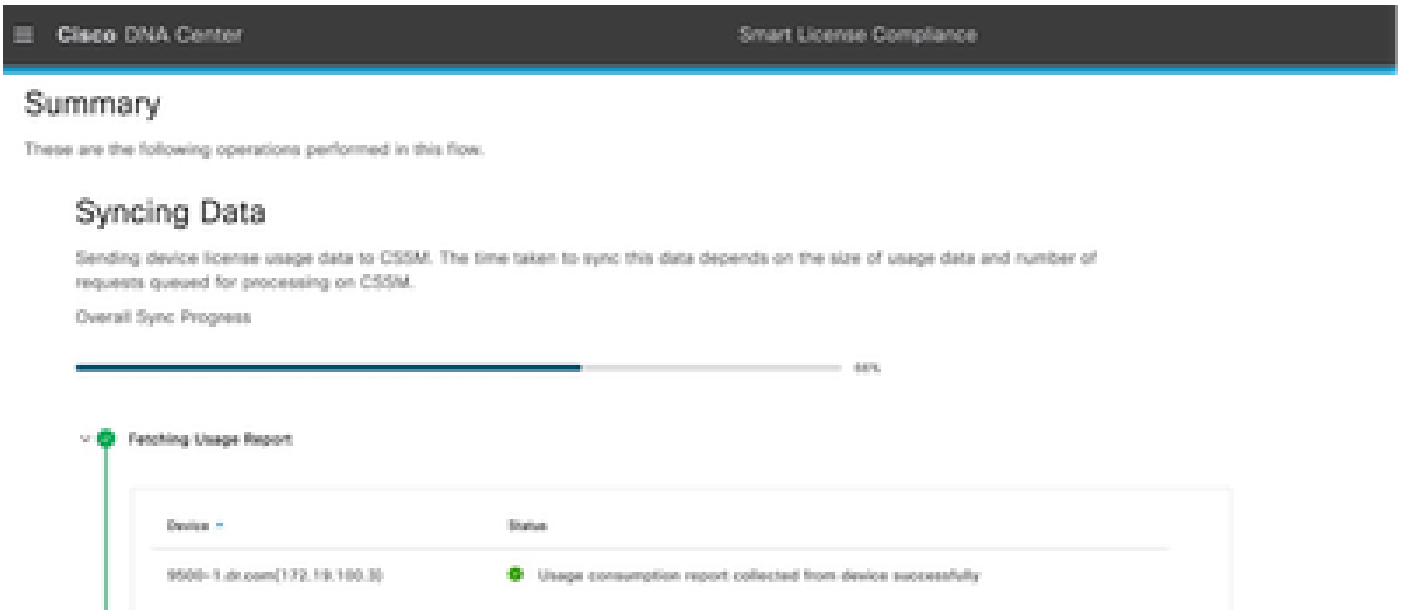
ステップ 5：ライセンス使用状況をレポートするデバイスを選択します。

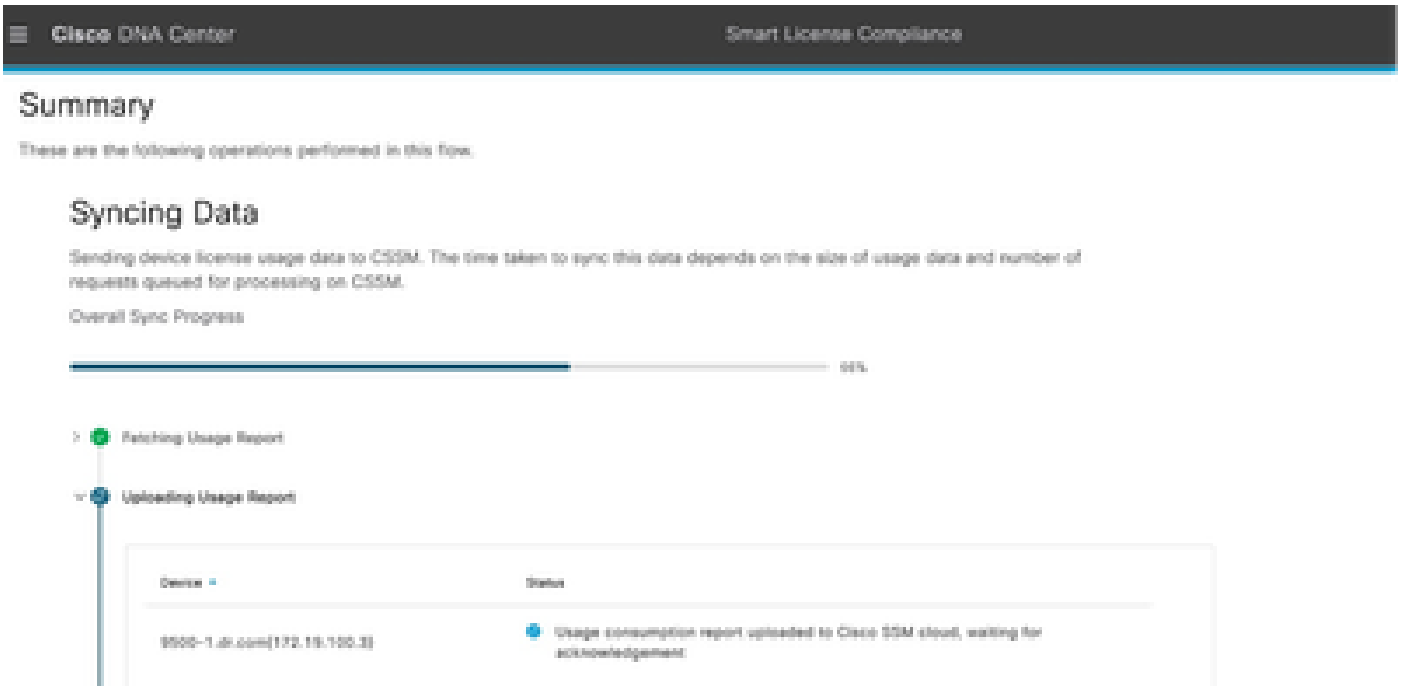


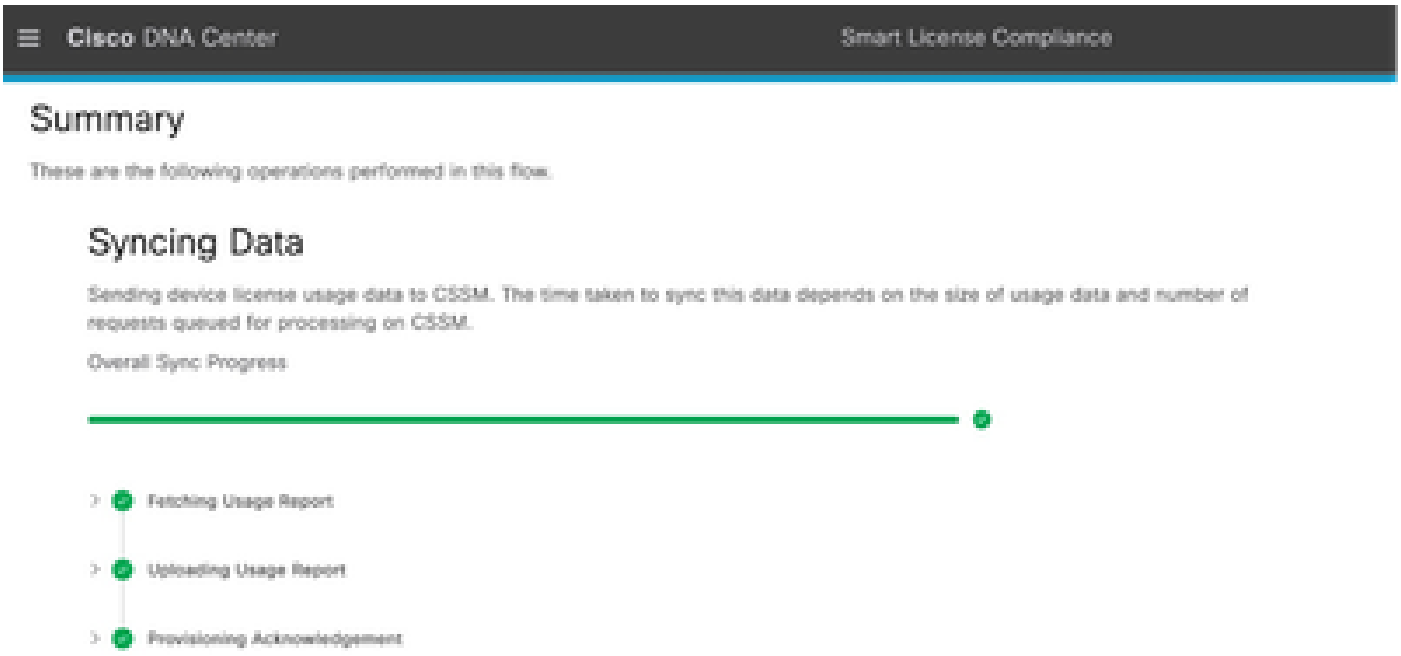
手順 6：必要に応じて、レポーティング間隔を変更します。

手順 7：デバイスの概要を確認し、Nextをクリックしてレポートをトリガーします。

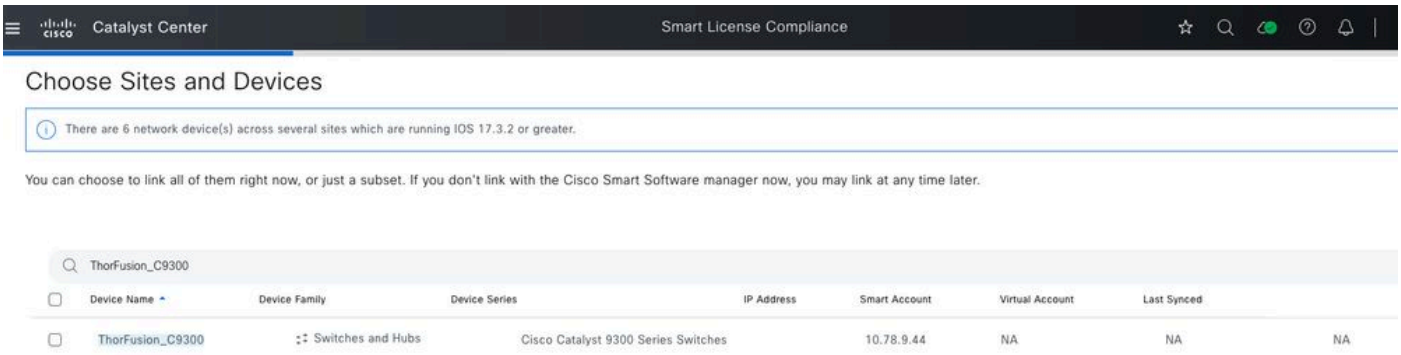



Cisco DNA Center
Smart License Compliance
Summary
These are the following operations performed in this flow.
Syncing Data
Sending device license usage data to CSSM. The time taken to sync this data depends on the size of usage data and number of requests queued for processing on CSSM.
Overall Sync Progress
Fetching Usage Report
Device
Status
9500-1.dir.com(172.19.100.3)
Usage consumption report collected from device successfully


Cisco DNA Center
Smart License Compliance
Summary
These are the following operations performed in this flow.
Syncing Data
Sending device license usage data to CSSM. The time taken to sync this data depends on the size of usage data and number of requests queued for processing on CSSM.
Overall Sync Progress
Fetching Usage Report
Uploading Usage Report
Device
Status
9500-1.dir.com(172.19.100.3)
Usage consumption report uploaded to Cisco SSM cloud, waiting for acknowledgement

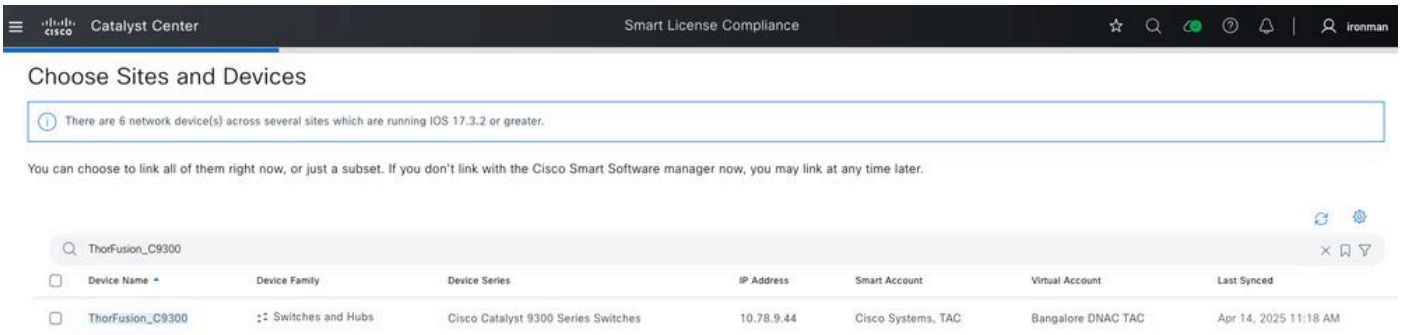


- デバイスがCatalyst Centerにオンボーディングされていないが、すでに仮想アカウントに登録されている場合、Catalyst Centerでは、Catalyst Centerにオンボーディングされると、そのデバイスのSLUPレポートが自動的に実行されます。スマートライセンスコンプライアンスワークフローを明示的に実行する必要はありません。
- デバイスが仮想アカウント/スマートアカウントにリンクまたは登録されていない場合、スマートライセンスコンプライアンスワークフローは自動的には実行されません。次のスクリーンショットを参照してください。最後に同期されたステータスはNAです。



- ライセンスの使用状況をレポートするには、お客様はCatalyst CenterのLicense Manager経由でスマートライセンスコンプライアンスワークフローを実行する必要があります。これ以降、Catalyst Centerは、SLCワークフローの最初の実行時にカスタマーがスケジュールした間隔で、スマートライセンスコンプライアンスワークフローを自動的に実行します。

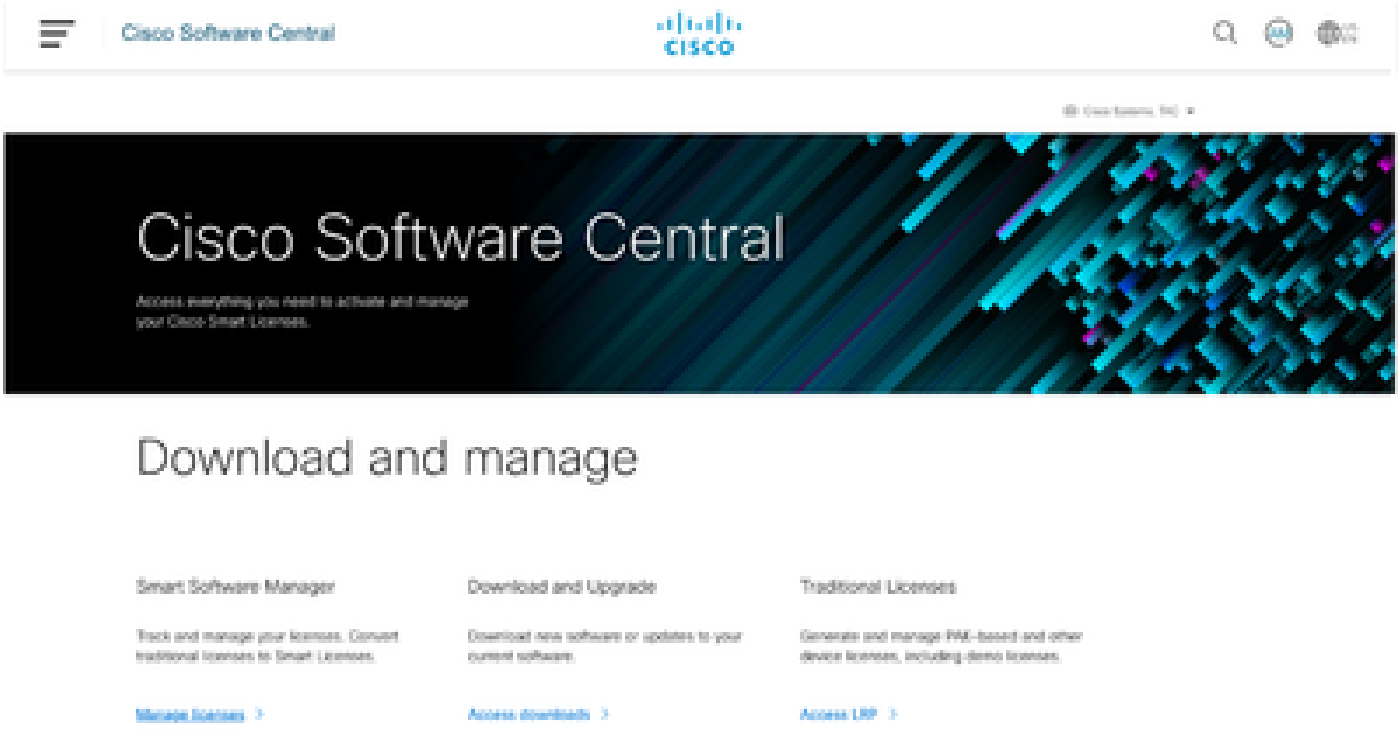
次のスクリーンショットを参照してください。最後に同期されたステータスが表示されています。



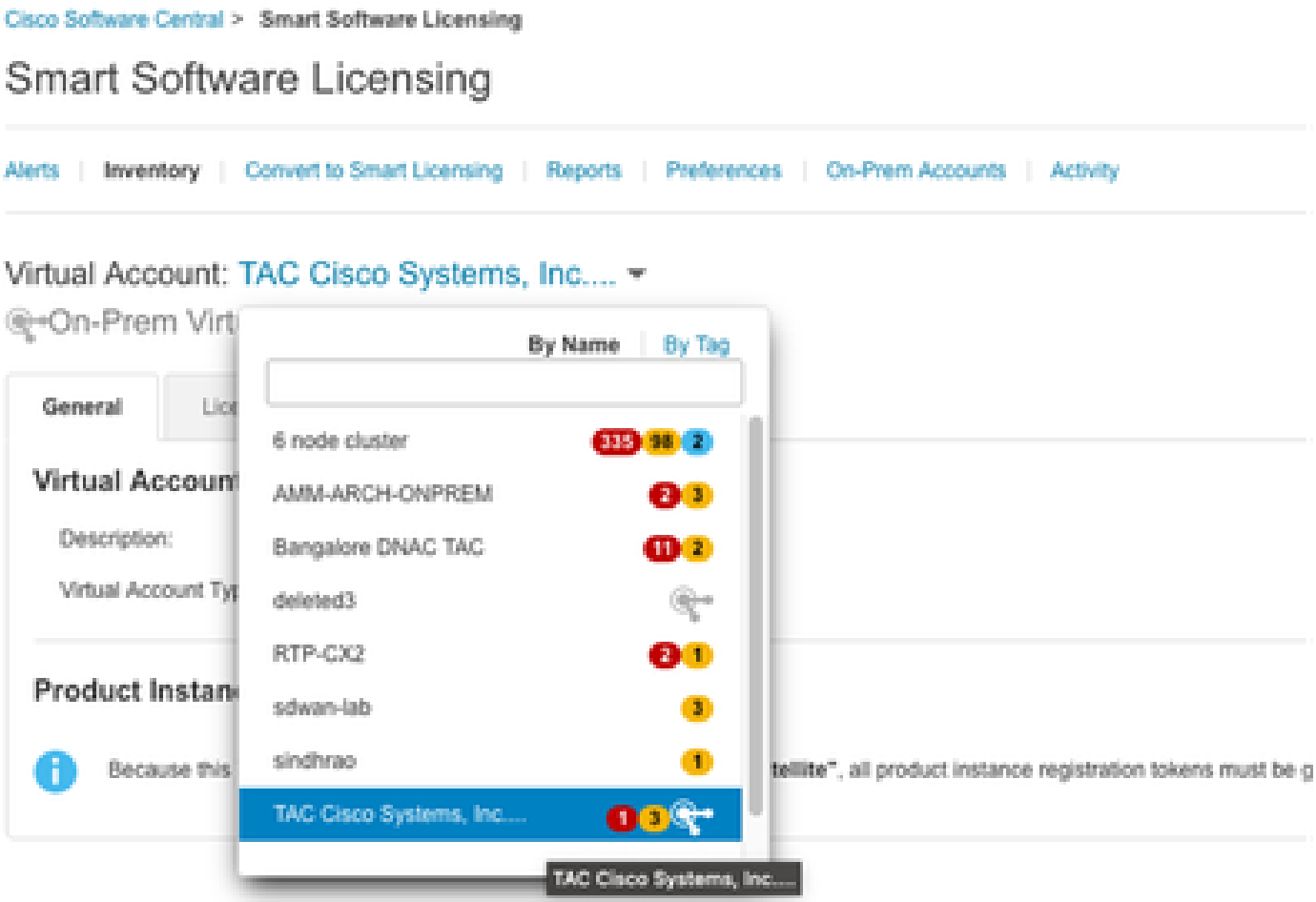
シナリオ3：仮想アカウント間のライセンス移行

ステップ 1：管理者クレデンシャル、またはスーパー管理者権限を持つカスタムロールを使用して、Cisco Catalyst Centerにログインします。

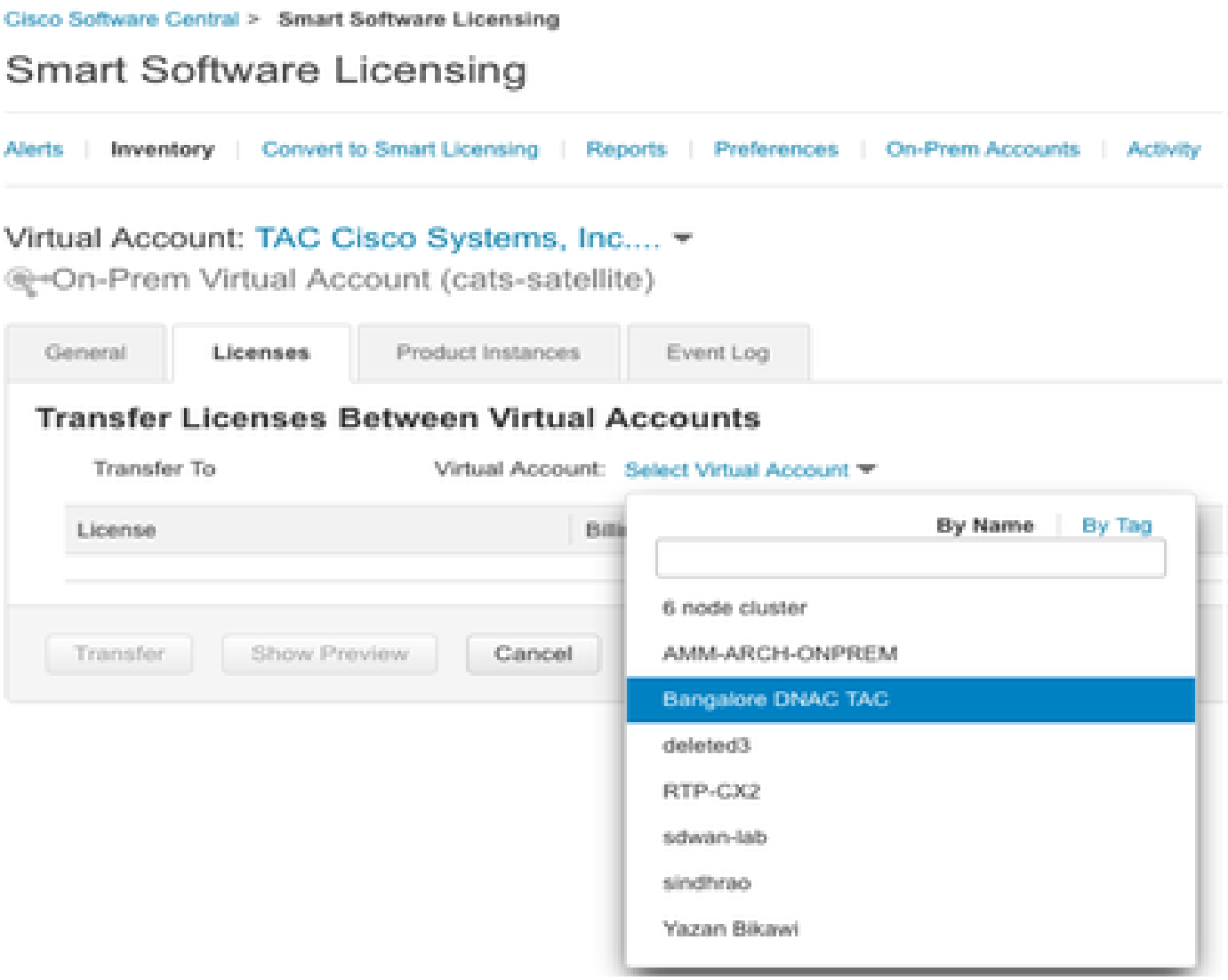
ステップ 2：software.cisco.comにログインし、Manage Licensesを選択します。



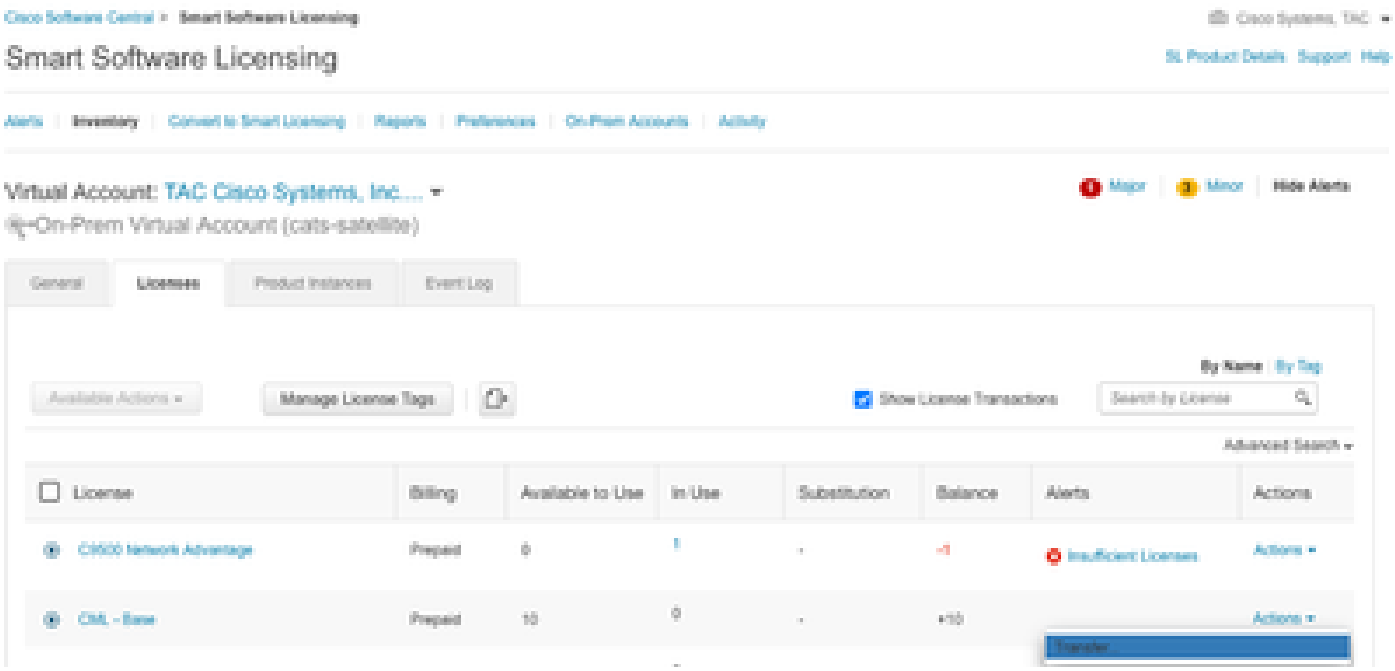
ステップ 3：Inventoryに移動し、ソースのVirtual Accountを選択します。



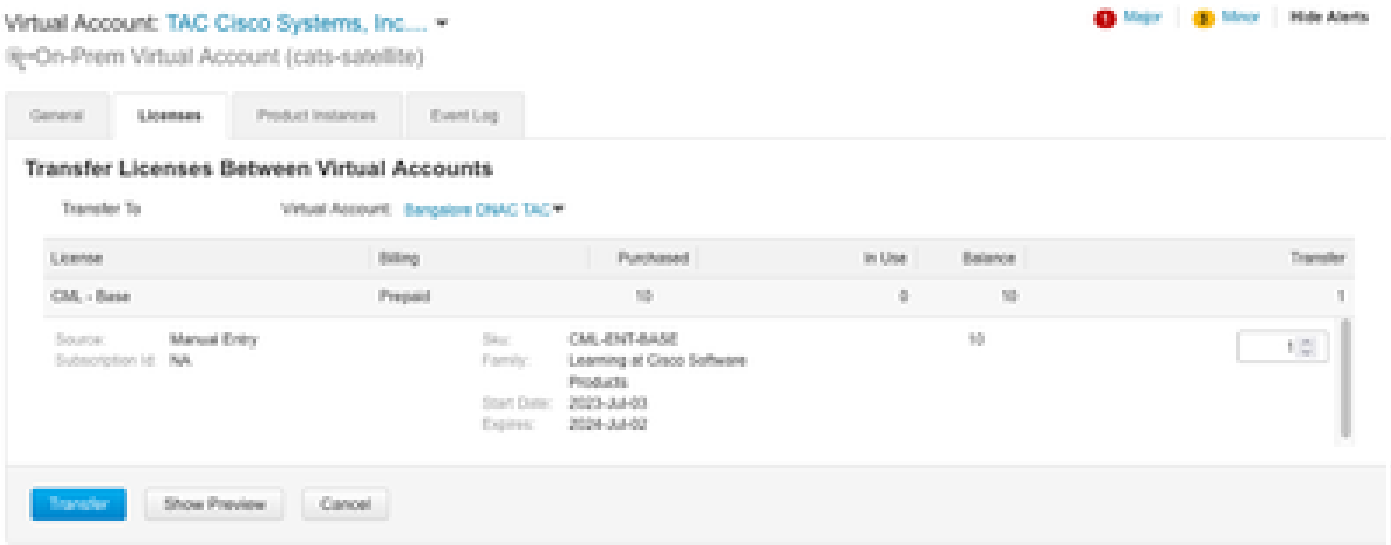
ステップ 4：License タブを選択し、Target Virtual Accountを選択します。



ステップ 5：転送するライセンスを選択し、Actions & Select Transferをクリックします。



手順 6：転送するライセンス数を選択して、Transferをクリックします。

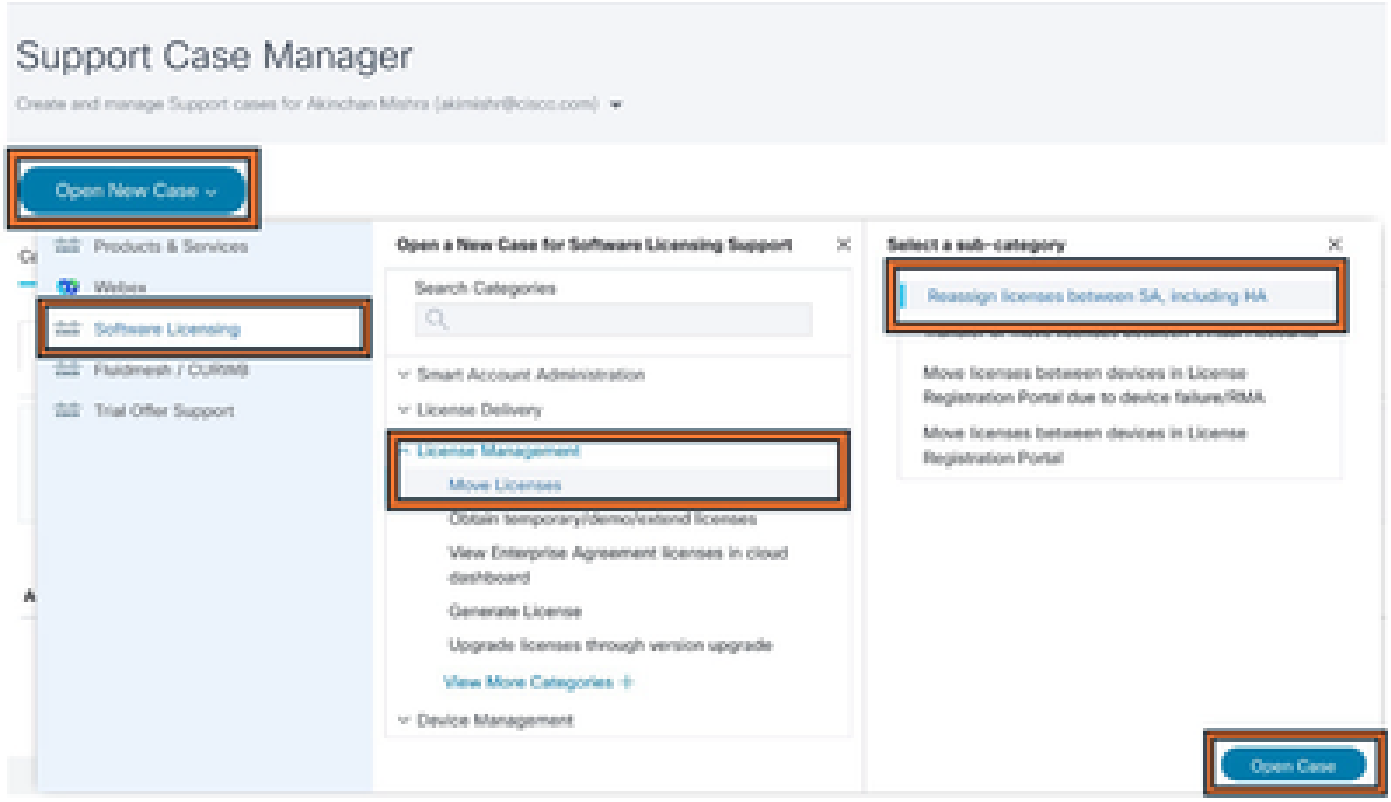


シナリオ4：スマートアカウント間のライセンス移行

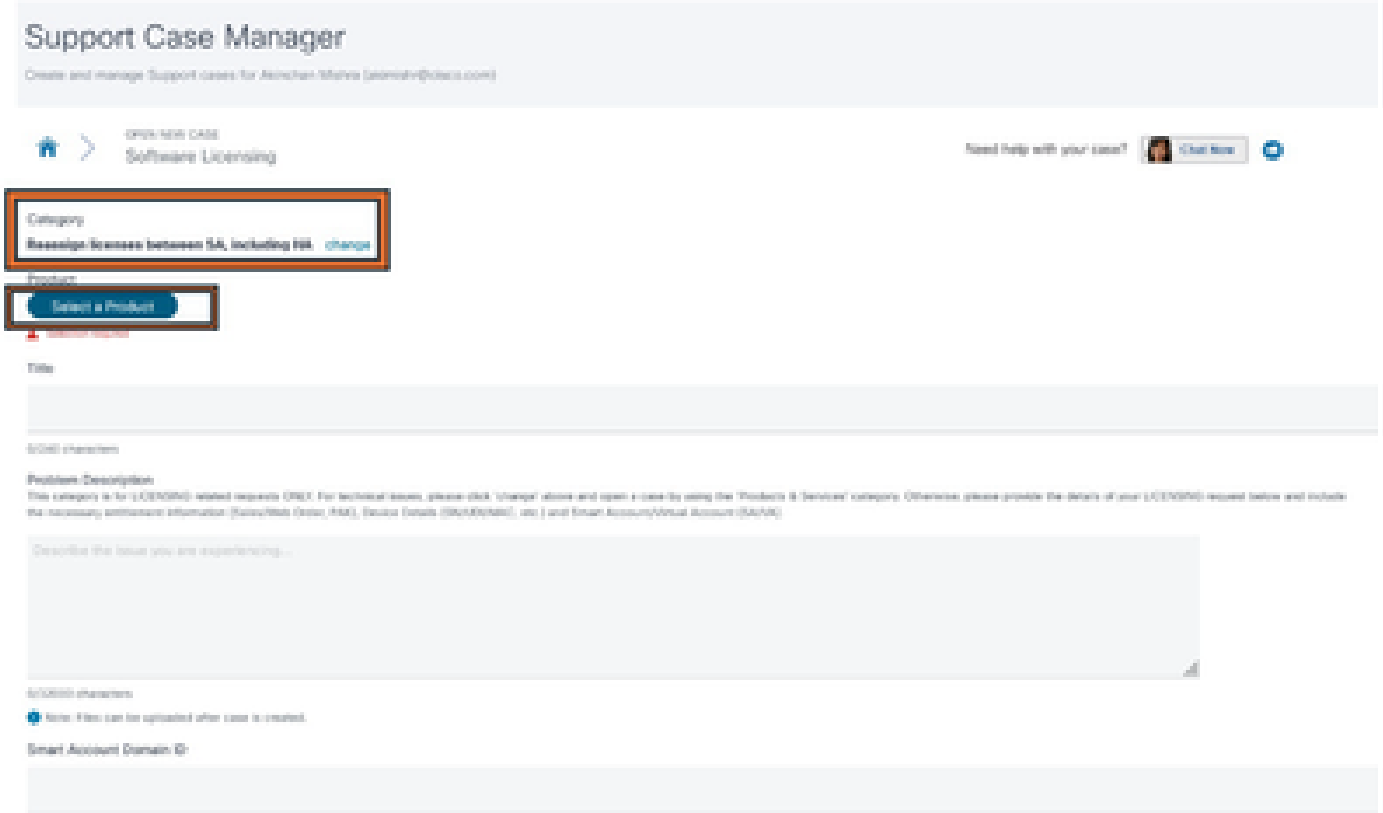
異なるスマートアカウント間でのライセンスの移行は、シスコライセンスチームが行うことができます。次のステップを参照して、各チームに対してケースを提起してください。

ステップ 1：シスコのクレデンシャルを使用して[Support Case Manager](#)にログインします。

ステップ 2：Open New Caseをクリックし、Software Licensing > Expand License Management > Select Move Licensesの順に選択します。次に、Reassign licenses between SAを選択し、Open Caseをクリックします。



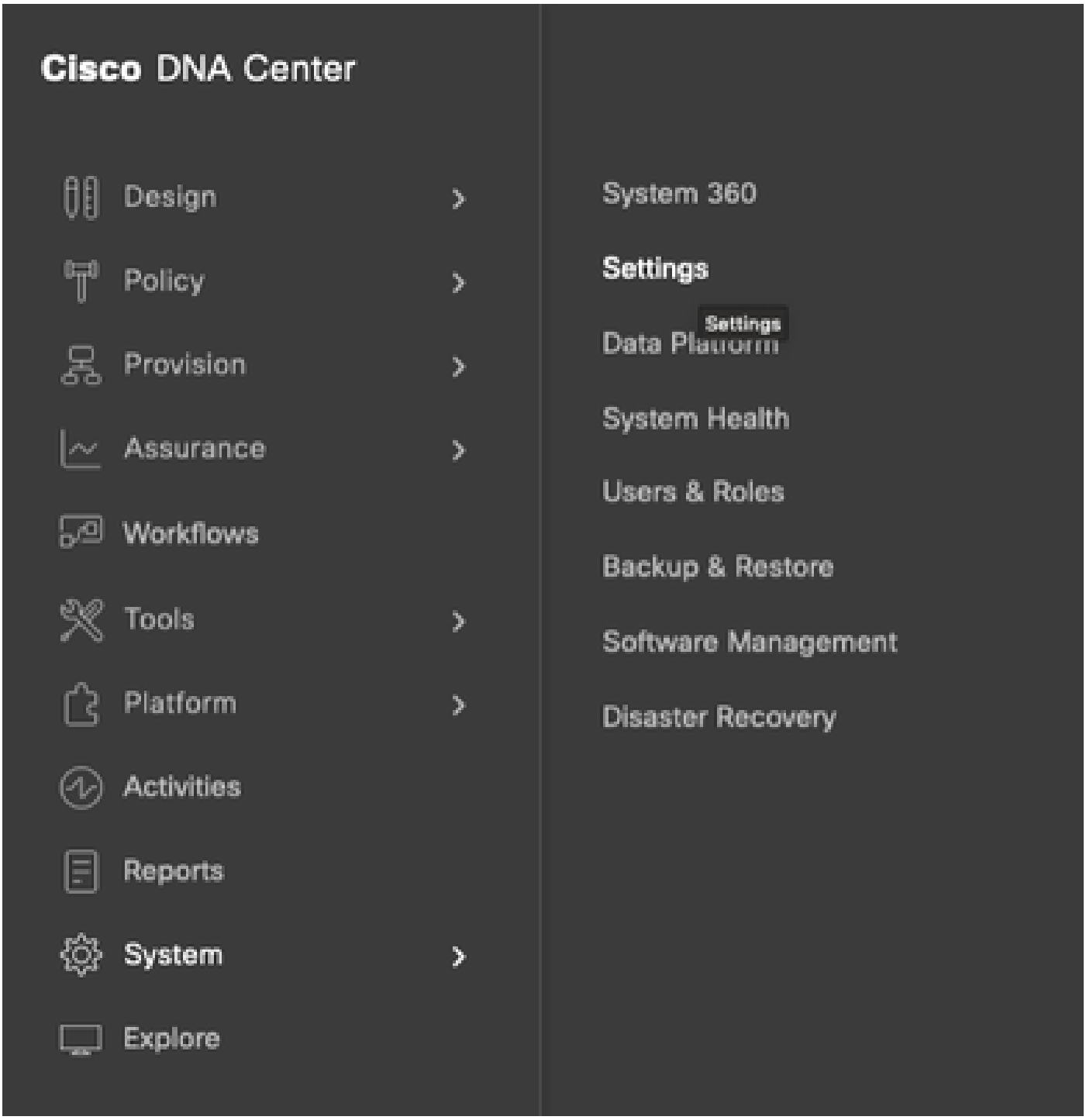
ステップ 3：関連製品（たとえば、ワイヤレス、スイッチングなど）を選択し、フォームに入力して、要求を送信します。



シナリオ5:SSM接続モードの変更

ステップ 1：管理者クレデンシャル、またはスーパー管理者権限を持つカスタムロールで、Cisco Catalyst Centerにログインします。

ステップ 2：Hamburgerに移動し、System > Settingsの順に選択します。



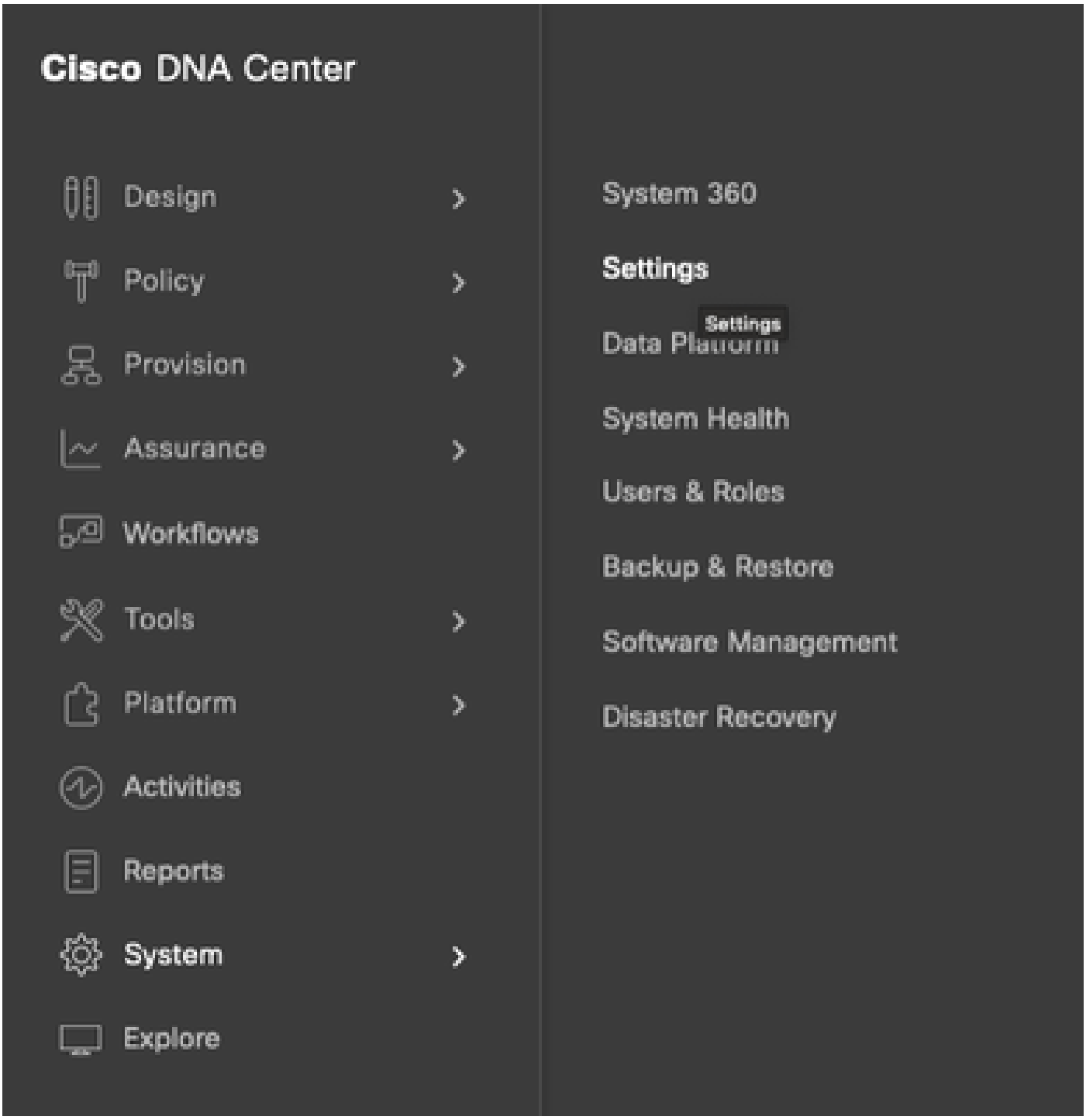
ステップ 3：SSM Connection Modeを選択し、目的のオプション(Direct/Smart Proxy/On-Prem)を選択します。 [Save] をクリックします。

- ダイレクトSSMモード：ダイレクトモードでは、Catalyst CenterがSLUPワークフローのプロキシとして引き続き機能します。このワークフローでは、Catalyst Centerがネットワークデバイスから RUMレポートを収集して、Cisco Smart Software Manager(CSSM)クラウドにアップロードします。
- オンプレミスCSSM SSMモード：実行レポートがオンプレミスCSSMに送信されてから、Cisco Smart Software Manager(CSSM)クラウドに送信されます。

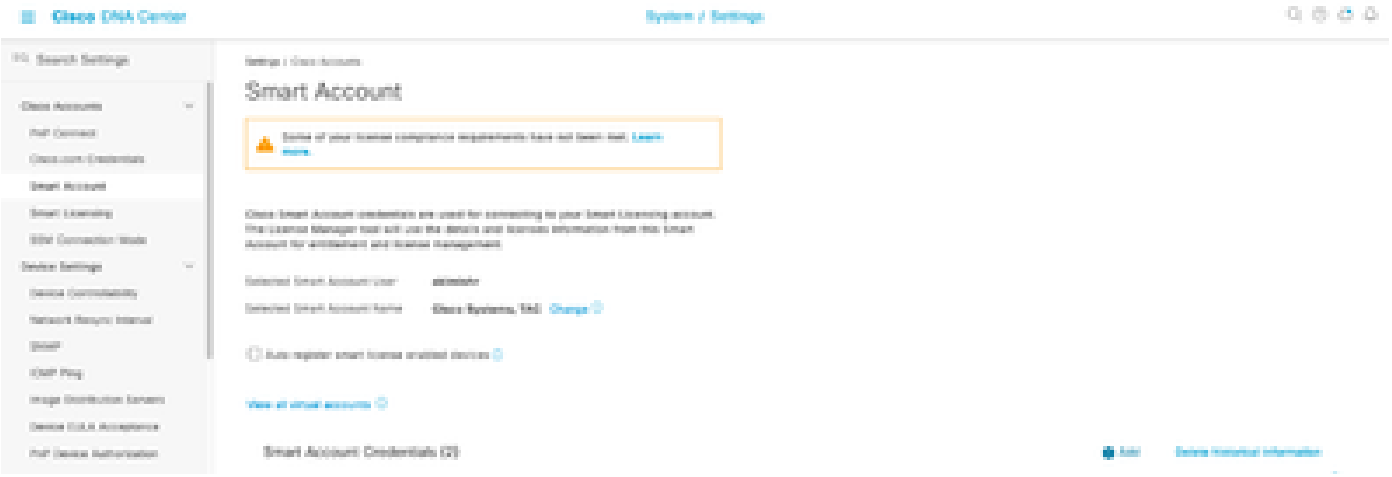
シナリオ6：スマートアカウントとCisco Catalyst Centerの統合

ステップ 1：管理者クレデンシャル、またはスーパー管理者権限を持つカスタムロールを使用して、Cisco Catalyst Centerにログインします。

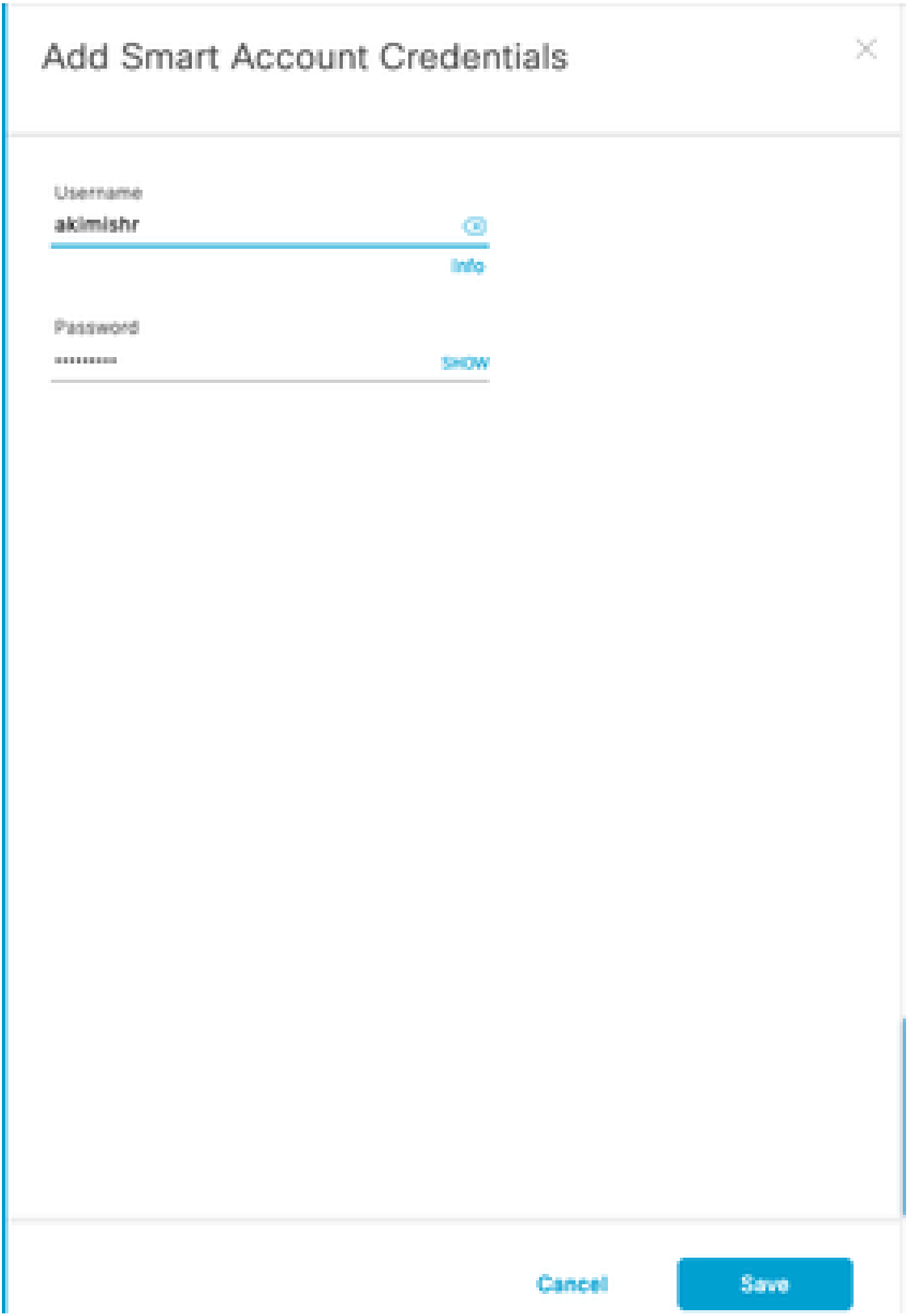
ステップ 2：Hamburgerに移動し、System > Settingsの順に選択します。



ステップ 3：Smart AccountでAddをクリックします。



ステップ 4：スマートアカウントのユーザ名とパスワードを入力し、Saveをクリックします。



ステップ 5：複数のスマートアカウントがある場合は、手順3と4を繰り返します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。